

# 広島市立大学の社会貢献

科学と芸術を軸に 世界平和と地域に貢献する

国際的な大学を目指して



3つのひかり 未来をつくる  
広島市立大学  
Hiroshima City University



30th Anniversary

2023年9月 社会連携センター

# Contents

広島市立大学社会連携センターについて

広島市立大学の社会貢献

教育カリキュラム「地域志向特定プログラム」

地域展開型の芸術プロジェクト

いちだい地域共創プロジェクト

社会連携プロジェクト

市大生チャレンジ事業

市民を対象とした公開講座

産学連携の推進

産学連携教育

外部資金の獲得等

ホームページ・アクセス等

# 広島市立大学社会連携センターについて

## 【ごあいさつ】

広島市立大学は、国際、情報科学、芸術の3学部・研究科及び広島平和研究所から構成されており、地域内において特色のある教員・研究者集団を抱える大学です。

大学と社会をつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の研究等の成果を社会に還元するため、従前の「産学官連携推進室」の機能を発展的に拡充改組し、2007年7月に「社会連携センター」を設置しました。

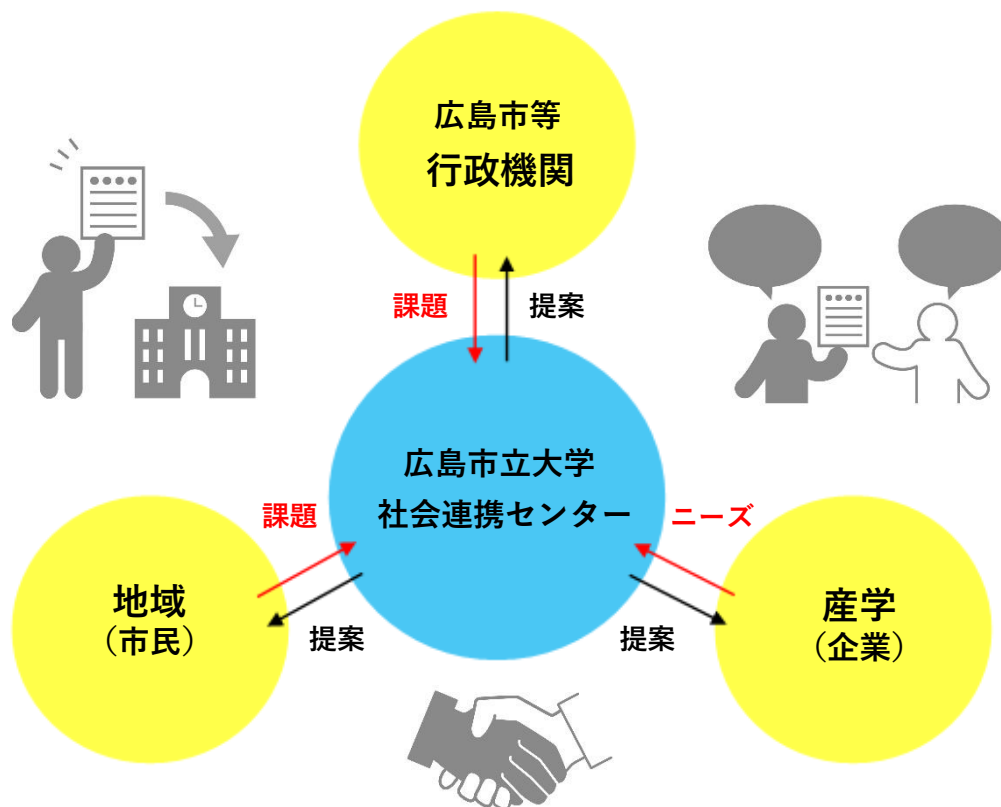
本パンフレットでは、本学の社会貢献活動の一端を紹介しております。地域や行政機関の皆様、産学官及び地域の皆様に地域・社会貢献活動の取組を知っていただくとともに、さらなる連携のきっかけとなれば幸いです。

社会連携センター長 田村 慶一

## 【こんなときは、社会連携センターへ】

大学には教育、研究成果等の資源を活用して、市民・地域社会・企業等と連携し、地域・社会貢献を行うことが求められています。広島市立大学は、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指しています。

社会連携センターは、地域の皆様、産業界の皆様と大学をつなぐ窓口です。連携事業等のお問い合わせがございましたら、本学教員とのマッチングを行いますので、お気軽にご相談ください。



## 【社会連携センター所管業務】

区分	事業内容
産学連携の推進	産学連携推進施策の企画運営・学内調整、関係機関との連絡調整
地域連携の推進	地域連携推進施策の企画運営・学内調整、関係機関との連絡調整
知的財産管理	知的財産権の権利化及び管理(特許出願等)、知的財産権保護
外部資金獲得	奨学寄附金・補助金の受入及び予算執行、共同研究・受託研究の推進及び予算執行
公開講座	一般向け公開講座、高校生を対象とした芸術学部のサマースクールや情報科学自由研究、社会人を対象とした講座等の企画・実施

# 広島市立大学の社会貢献

—行政機関・地域との連携事業—

本学は広島市等の行政機関や地域との社会貢献事業を積極的に進めています

## 基町プロジェクト

「基町プロジェクト」は、2013年7月に広島市が地元住民と連携しながら策定した「基町住宅地区活性化計画」に掲げている「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指す取り組みです。

若者が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、まちの魅力づくりや、基町住宅地区の活性化を目的とします。



収集した地域資料を基町資料室で展示



活動拠点M98



## 下水道マンホールのデザイン

広島市から受託研究としてデザインを依頼され、本学芸術学部が制作しました。

## 8.6 ピースナイター

平和記念日の8月6日に開催される「ピースナイター」では、2011年からカープ球団の協力を得て、カープおよび対戦チームの監督、コーチ、選手がメッセージを書いたとうろうを本学の学生が受け取り、原爆ドーム付近の元安川で行われる「とうろう流し」で流す行事を続けています。



## いちだいサイエンスパーク

広島市佐伯区「THE OUTLETS HIROSHIMA」で『いちだいサイエンスパーク』を開催し、2022年度は2日間で575人の児童生徒とその保護者等1,171人の方にご参加いただきました。  
『いちだいサイエンスパーク』は公益財団法人KDDI財団との共催、KDDI株式会社中国総支社・広島市教育委員会の後援を受けて実施しました。



## 毘沙門台学区のマスコットキャラクターづくり

2022年度、広島市安佐南区の毘沙門台学区社会福祉協議会から委託を受けて、地域のマスコットキャラクターをデザインしました。  
地域のお祭りである毘沙門さんの「初寅祭」にちなんで、トラのキャラクターにしてもらいたいというご要望を伺いデザインしました。  
地域で募集・選考して「びしゃえもん」と名づけられ、地域の広報媒体や行事でTシャツや法被に印刷されるなどして、馴染まれているようです。

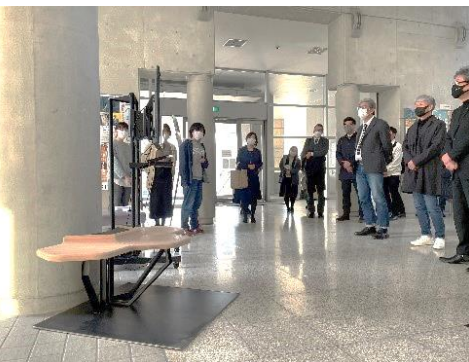


びしゃえもん



## マツダ株式会社との共創ゼミ

新たなものづくりと新たな時代を形成し得る人材を育成し、広島が世界に誇れるものづくりを輩出する地となることを目指して、自動車メーカーマツダ株式会社との「共創ゼミ」を開設しています。  
マツダデザイン本部のデザイナーを教員として招き、テーマを設定して学生が「新たなものづくり」にチャレンジし、評価を受けます。2017年度から始まりましたが、最近の例では、2021年度は宮島大聖院の消えずの火の灯台、2022年度は生まれ変わる広島駅の建物に置くベンチをテーマにしました。



## アサヒグループジャパン株式会社との共創ゼミ

飲料メーカーであるアサヒグループジャパン株式会社が広島県内に有する広大な森林「アサヒの森」を活用し、同社と協力して、2022年度から講義やフィールドワークを実施しています。森林課題に関心を持つ人、森の恵みを次世代に繋ぐ仲間を増やすことを目的に、2022年度は学生が、間伐材を使った、ストーリーのあるプロダクト・デザインの開発にチャレンジしました。  
無印良品広島アルパーク店で展示会を開催、優秀作品はエコプロ2022（東京ビッグサイト）に出店しました。そのうち1点は製品化が決定しています。



アサヒグループ・広島市立大学 共創ゼミ  
アサヒグループの技術「アサヒの森」を活用して、日本の森をテーマにした作品を開発します。



森の研究室



# 教育カリキュラム「地域志向特定プログラム」

—地域に貢献する人材育成を目指し、学習や体験を行う—



地域課題演習・合同発表会



空き家再生から  
尾道の魅力と課題を知る  
(広島県尾道市)

本学は 2015 年度から 2019 年度の 5 年間、文部科学省から「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の実施校に選定され、地方への人の集積を目的に、広島広域都市圏の市町に尾道市を加えた 25 の自治体や地域の企業、大学と連携して、地域に定住し、貢献していく人材を育成するプロジェクトを進めてきました。

※COC はセンター・オブ・コミュニティの略称



地域を拓くなりわいを知る  
(広島県世羅町)

地域社会の発展には若い世代の力が不可欠です。公立大学である本学にとって、地域に定住し貢献する学生を育成することは重要な使命となっています。

「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」を契機として始めた「地域志向特定プログラム」は、1、2年次の共通教育として、地域課題演習、地域再生論入門、広島の観光学、広島の産業と技術、などを履修し、2、3年次の専門教育では学部ごとに地域に関連した科目や地域実践演習が組まれています。さらに、4年次で地域をテーマにした論文、研究、制作に取り組みます。プログラムの単位取得者には「ひろしま地域リーダー」の称号が授与されます。

このプログラムにより、地域の特性や課題を理解し、解決方法を総合的に考え、ネットワークを形成・調整し、専門性を効果的に発揮するという能力の育成を目指しています。



食と農、  
里山ライフスタイルを知る  
(広島県安芸高田市)

# 地域展開型の芸術プロジェクト

—地域の魅力の資源をアートやデザインで表現—

芸術学部の学生と教員が地域に出向き、アートやデザインによって、地域の魅力や資源などにスポットを当てる表現活動を行っています。学外教育として、学生が現場の環境や人々と触れ合いながら、取材、制作を進めるプロセスの中で、地域への発見や気づきを得る機会となっています。作品の展示やワークショップなどの地域活動によって交流も生まれています。

JR 芸備線の魅力化を図る取り組み「芸備線活性化プロジェクト」  
(広島県広島市安佐北区白木町)



地域住民 100 名を撮影した「のぼり旗」作品

一次産業の実態を理解し、農業におけるデザインの課題を解決する  
里山アートプロジェクト「アグリデザイン」  
(広島県東広島市豊栄町)



地域産業を継承する「大竹和紙プロジェクト」  
(広島県大竹市)



学生の企画によるパッケージや  
手提げ袋等のデザイン



# いちだい地域共創プロジェクト



いちだい地域共創プロジェクトは、2022年度から始まった事業です。地域の課題解決に取り組んでいる広島広域都市圏及びその周辺地域の地域団体から提案を受けて、本学の教職員や学生が、応募団体と協働して、課題解決に向けた取組を実践するものです。実施に必要な活動経費を大学が負担します。



## ▶2022年度採択事業一覧

### 01 広島・横川発！アンジュヴィオレ広島と国連ユニタール協会による「開発と平和のためのスポーツ（Sport for Development and Peace）」としての社会貢献

代表者：国際学部 講師 山平 芳美

連携先：特定非営利活動法人広島横川スポーツ・カルチャークラブ



#### 【地域課題・実施内容】

広島・横川の地域住民が運営する女子サッカーチーム「アンジュヴィオレ広島」と一般社団法人国連ユニタール協会と本学が共同して、一見スポーツとは関係ないと思われる、紛争・貧困・ジェンダーといった社会問題に、スポーツの力を動員する「開発と平和のためのスポーツ（Sport for Development and Peace）」の活動に取り組み、広島広域都市圏及びその周辺地域の持続的発展や広島だからこそ取り組むことができるグローバルイシュー（Global Issue）の解決に向けて貢献することを目指しました。

### 02 SNS情報を活用した観光地魅力可視化プロジェクト

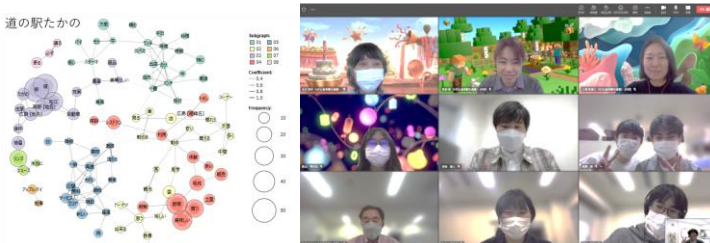
代表者：情報科学研究科 講師 目良 和也

連携先：一般社団法人広島県観光連盟（HIT）

#### 【地域課題・実施内容】

広島県観光連盟では、広島がリピータブルな観光地となることを目指して、各種データを分析・発信していますが、これまでの観光データの取得はアンケート調査など過去のデータ分析がメインとなっており、リアルタイムでの情報取得が困難でした。

そこで、本プロジェクトでは、広島観光客がSNSへ投稿するコメントをデータマイニングし、観光客が現在感じている広島の魅力や受入環境等の不満を可視化することを目指しました。



### 03 アーティストのために整備した「AIR Hiroshima Studio」と「AIR Hiroshima Gallery」の活用による地域の文化・芸術の振興への寄与

代表者：国際学部 准教授 石谷 治寛

連携先：横川エリアマネジメント連絡協議会



#### 【地域課題・実施内容】

横川で整備したAIR Hiroshima Studio」と「AIR Hiroshima Gallery」の2つの空間の運営規約の策定、ロゴデザインの作成、利用システムの構築、効果的な広報活動などを行うことをとおして、地域の文化・芸術の振興を目指しました。



## 04 渡日生のための宿題お助けプロジェクトと 渡日生支援者向け日本語教育セミナーの開催

代表者：国際学部 准教授 重田 美咲  
連携先：NPO法人安芸高田市国際交流協会



【地域課題・実施内容】  
外国にルーツのある子どもたちにとって、日本の夏休みの宿題は大変です。そこで、本学の学生が夏休みの宿題支援を行うことにより、子どもたちに宿題に取り組む意欲を高めてもらい、自信をもって笑顔で2学期を迎えてもらうことを目指しました。加えて、渡日生支援を行う地域団体に対して「日本語教育セミナー」を行うことで、渡日生支援者のより一層のスキルアップを目指しました。

## 05 似島の歴史ガイドボランティア活動に資する 教材制作

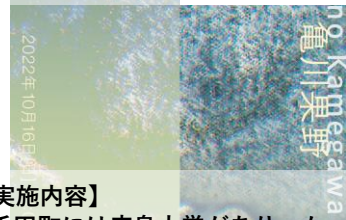
代表者：社会連携センター 特任教授 國本 善平  
連携先：似島歴史ボランティアガイドの会

【地域課題・実施内容】  
似島は、かつて陸軍検疫所などが設けられ、被爆後に多くの被害者が搬送されました。現在も旧陸軍検疫所の一部、陸軍埠頭等が残っています。2021年4月にできた「似島平和資料館」を拠点に、地元の野の島歴史ボランティアガイドの会が歴史遺構のガイドを行っています。しかし、案内のための説明資料が不足しているため、本学の学生が現地で遺構やボランティア活動に触れ、資料を調査・学習し、案内用の紙芝居を制作しました。



## 06 せんだまちアートプロジェクト

代表者：芸術学部 講師 今野 健太  
連携先：にぎわいらボ東千田



【地域課題・実施内容】  
広島市中区千田町には広島大学があり、かつては学生の街として賑わっていましたが、キャンパスの移転や住民の高齢化により空き店舗が増え、活気の減少が地域の課題となっています。そこで、「にぎわいらボ東千田」と芸術学部の教員や学生が協力して、意見交流会やワークショップ、作品が街に出ていくような展覧会を企画・開催し、芸術を通じた地域の連携と街の活性化を目指しました。



## 07 コロナ禍でも健康体操で交流したい

代表者：情報科学研究科 准教授 岩根 典之  
連携先：比治山学区社会福祉協議会

【地域課題・実施内容】  
比治山学区社会福祉協議会から、「集会所などに集合しなくても、ゲーム感覚でICTを使って交流できる健康づくり活動がしたい。また、スマートフォンを活用できる高齢者を増やしたい」という課題の提案をいただきました。この背景には、昨今の新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、高齢者の介護予防・健康づくりや交流活動に支障が出ているという事情がありました。そこでさまざまな体操環境を設計提案し、楽しく持続可能な活動環境の整備を目指しました。



# 社会連携プロジェクト



## ○目的

本学の目標「国際平和文化都市の『知』の拠点－地域と共生し、市民の誇りとなる大学－」の実現に貢献する事業(社会連携プロジェクト)を実施しています。

## ○内容

以下のいずれかに該当する事業であることを審査のうえ事業費を交付。

- (1) 「地域志向特定プログラム」を推進する協働事業
- (2) 広島市及び広島広域都市圏の自治体の行政課題の解決に資する協働事業
- (3) 地域の産業や経済の発展に貢献する協働事業
- (4) 地域や市民団体等と連携した協働事業
- (5) その他、教育研究の成果を地域社会に還元することに寄与すると認められる協働事業

## ▶2022年度採択事業一覧

### 01 ドローンから見た 瀬戸の島の地域資源探索プロジェクト

代表者：国際学部 教授 山口 光明



連携先  
・鹿老渡区・自治会  
・倉橋郵便局  
・呉市産業部商工振興課

### 02 広島市立大学科学教室

代表者：情報科学研究科 准教授 釘宮 章光



連携先  
・蔵前工業会広島県支部事務局

### 03 地域貢献医工学教育プログラム 「ひろしま医工学スクールSpring2023」

代表者：情報科学研究科 准教授 鷹野 優



連携先  
・広島市立広島市民病院

### 04 瀬戸内国際芸術祭2022 三都半島アートプロジェクト

代表者：芸術学部 准教授 田中 圭介



連携先  
・小豆島町  
・三都半島アートプロジェクト運営委員会

# 市大生チャレンジ事業



## ○目的

本学の学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動に対し、活動費の一部を助成しています。

## ○内容

以下のいずれかに該当する活動であることを審査のうえ活動費の一部を助成。

### A 学生自らが選定した次のいずれかに該当する活動

- ア 「地域志向プログラム」(地域課題演習、地域実践演習等)の中で学んだことを発展させた活動
- イ 広島市など自治体の行政課題に対応する活動、地域や市民団体等との協働による活動
- ウ 地域に在住するあるいは地域を訪問する外国人を支援する活動
- エ 地域活性化や社会貢献につながる起業を目指す活動
- オ その他、地域や社会への貢献に資すると認められる活動

### B 地域などから提案されたテーマにもとづく活動

## ▶2022年度採択事業一覧

### 01 小学生とつくりだす絵おと芝居

代表者：国際学部 佐藤 優  
アドバイザー：芸術学部 教授 吉田 幸弘

#### 【目的】

- ①小学生に平和の尊さを学ぶ機会を提供する。
- ②物語として広島の歴史を広く発信するとともに、地域で活用してもらいながら後世に残す。



### 02 自然派展—芽出 (めで)

開催日：9:00-18:00 会場：後伯田園アーチエリランド

代表者：芸術学研究科 トウシキ  
アドバイザー：  
芸術学部 教授 伊東 敏光  
芸術学部 教授 チャールズ・ウォーゼン



#### 【目的】

- ①中山間地域の活性化（廿日市市佐伯地区）
- ②国際理解の促進
- ③スポーツとアートの融合

### 03 大崎上島「空き地再生プロジェクト」～大串の方々との共同制作を通した空き地と竹の活用方法の提案～

代表者：芸術学部 川口 春  
アドバイザー：芸術学部 教授 吉田 幸弘

#### 【目的】

- ①島しょ部の地域活性化（大崎上島町大串地域）
- ②空き地を活用した、子ども・大人の憩いの場の整備
- ③竹害対策と竹の活用方法の提案





# 市民を対象とした公開講座


社会全体の生涯学習ニーズの高まりのなかで、大学は身近な生涯学習機関としての役割も求められています。広島市立大学では、こうしたニーズに応じていくため、その専門性を生かして幅広い層を対象とした公開講座を積極的に開催しています。

## 国際学部

- ・ 「国際交流・協力の日」と連携した公開講座
- ・ 市大英語eラーニング講座
- ・ 「国連UNHCR協会」と連携した講座

### 【2022年度開催分】



区分	講座名	開催時期	会場	受講料	定員	受講者数
国際フェスタに合わせ開催している講座	「叢書『世界は広島をどう理解しているかー原爆七五年の五五か国・地域の報道』から (公財)広島平和文化センターが主催する「国際フェスタ」の中のプログラムのひとつとして開催している講座	11/20	広島国際会議場	無料	100人	65人
市大英語eラーニング講座	市大英語 e ラーニング講座 ①リーディング・リスニング・文法プログラム ②スピーキングプログラム ③ライティングプログラム ④小学校英語教育指導者養成プログラム ⑤通訳ガイド養成プログラム ▶講座体験ページ <a href="https://aokin.lang.hiroshima-cu.ac.jp/index.html">https://aokin.lang.hiroshima-cu.ac.jp/index.html</a> 	(第1期) 5/21～ 8/5 (第2期) 7/23～ 10/7 (第3期) 9/23～ 12/9	オンライン 及び 受講会場  (ゆいぽーと、 本学サテライト キャンパス)	① 18,260円  その他 5,000円	各期 80人	(第1期) 38人 (第2期) 28人 (第3期) 29人
公開講座	「難民問題と“日本の今”」 国連 UNHCR 難民映画祭パートナーズ 上映会と関連するテーマに関する講演	2/11	合人社ウェンディひと・まちプラザ (北棟6階 マルチメディア スタジオ)	無料	55人	45人
公開講座	「“キャリア”とは？」	2/19	オンライン	無料	30人	35人

## 情報科学部

- ・ 高校生向け講座(情報科学自由研究等)
- ・ 一般向け公開講座(講演会)
- ・ いちだいサイエンスパーク
- ・ 社会人向け公開講座(地域産業の実践的IoT人材育成プログラム)



### 【2022 年度開催分】

区分	講座名	開催時期	会場	受講料	定員	受講者数
高校生向け講座	高校生による情報科学自由研究(全 14 テーマ)  (1)Python を使って確率の問題を解こう (2)無線 LAN で通信実験！色々な場所で通信速度を調べてみよう (3)AI プログラミング入門以前 ～大富豪で行きましょう編～ (4)教育・学習データを可視化・分析してみよう (5)直観的に楽しく情報を探すには？ ～ファセット検索システムを作ってみよう～ (6)進化的アート～生物の進化を利用した画像生成～ (7)作って、チャレンジ、ロボットサッカー (8)サウンドデザイン～ヘッドフォンの特性を測る～ (9)オリジナルの最先端 VR コンテンツをチーム制作してみよう！ (10)自作センサで呼吸を測ろう (11)情報オリンピック問題に挑戦しよう！ (12)フォトグラメトリーで写真から実物の CG モデルを作る (13)Google Colab で AI ～Yolo を利用した物体検出～ (14)量子シミュレーターを用いて因数分解をしてみよう	7/26～8/31 テーマ毎に 期間中 2～3 回	本学 又は オンライン  (1)～(10)は 本学での対面 実施  (11)～(13)は 本学での対面 及びオンライン 実施  (14)はオンラ イン実施	無料	2～10 人	全 14 テーマ 99 人
高校生向け講座	オンライン発表会 (高校生による情報科学自由研究)	10/10	オンライン	無料	参加高校生 52 人 本学教職員・ 高校教員等 25 人 発表 14 組	
一般向け講座	講演会 「まじめなコンピュータといかげんなコンピュータ」 「センシング情報とその可視化」	12/2	オンライン	無料	100 人	35 人
小中学生向け講座	いちだいサイエンスパーク 小中学生を対象に、理科実験教室を行う	3/25・26	THE OUTLETS HIROSHIMA シティコート	無料	350 人	575 人
社会人向け	地域産業の実践的 IoT 人材育成プログラム ①画像処理を使ったロボットカー自律走行実習 ②Python プログラミング入門演習 ③AI 実装プログラミング入門	①8/17・18 ②9/2 ③3/7・8	①本学 ②本学サテライトキャンパス ③本学	①② 6,200 円 ③7,200 円	①各日 3 人 ②30 人 ③30 人	①2 人 ②14 人 ③10 人

## 芸術学部

- ・ 公開講座(一般向け)
- ・ サマースクール(中・高校生向け)
- ・ 社会人講座(通年コース/工芸・版画)

### 【2022 年度開催分】

区分	講座名	開催時期	会場	受講料	定員	受講者数
一般向け講座	日本画	9/1~9/5	本学アトリエ・工房等	10,200 円	25 人	22 人
	油絵(専門)	8/1~8/5		11,200 円	10 人	7 人
	油絵(一般)			11,200 円	20 人	7 人
	版画			11,200 円	10 人	7 人
	彫刻			8/3・4・5	6,200 円	各日 5 人
	漆造形	7/29・30・8/4・5・10		10,200 円	10 人	8 人
	視覚造形	9/26~9/30		本学アトリエ・工房・基町 Unité	10,200 円	8 人
(中・サマースクール 高校生向け)	日本画	8/27・28	本学アトリエ・工房等	6,200 円	10 人	10 人
	油絵	8/7・8		7,200 円	16 人	15 人
	彫刻	8/8・9		8,200 円	20 人	14 人
	デザイン工芸	8/20・21		6,200 円	40 人	39 人
版画通年コース (社会人講座 工芸・版画)	漆	4/5~1/20	本学工房	212,000 円 (週 4 日)	計 10 人 各分野 若干名	1 人
	金工			172,000 円 (週 3 日)		5 人
	染織			132,000 円 (週 2 日)		1 人
	版画			92,000 円 (週 1 日)		5 人
(社会人講座 夏季特別)	漆	8/10~9/30	本学工房	18,400 円 (6 日以内)	計 10 人 各分野 若干名	1 人
	金工			26,400 円 (12 日以内)		4 人
	染織			34,400 円 (18 日以内)		1 人
	版画			42,400 円 (24 日以内)		不開講



## 県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

- ・ 「ひろしまを考える」
- ・ 「世界を知る」

【2022 年度開催分】

区分	講座名	開催時期	会場	受講料	定員	受講者数
ひろしまを考える	大学で学ぶ地域・地域に学ぶ大学(県)	7/6~27 (毎週水曜)	県立広島大学 広島キャンパス	無料	100人 [50人(オンライン) +50人(対面)] (申込多数の場合抽選)	48人
	来てみんなさい~地域資源としての空き家の可能性~(広)					38人
	地域に出る学生(県)					41人
	地域をかたちづくる工芸~その魅力と今後を考える~(広)					39人
世界を知る	島のアート~瀬戸内国際芸術祭~(広)	10/7~28 (毎週金曜)	本学 サテライト キャンパス	無料	90人 [50人(オンライン) +40人(対面)] (申込多数の場合抽選)	49人
	琉球・沖縄と台湾問題の淵源~「琉球処分」の世界史における影響を考える~(県)					47人
	グローバル人材育成のためのファーストステップ!~異文化理解・国際交流プログラムの効果と意義~(広)					43人
	コップの水と言語:普遍性と多様性を見つめて(県)					27人

※(県): 県立広島大学 (広): 広島市立大学

## 広島平和研究所

- ・ 連続市民講座
- ・ 研究フォーラム
- ・ 国際シンポジウム

【2022 年度開催分】

区分	講座名	開催時期	会場	受講料	定員	受講者
連続市民講座	平和研究と平和文化	11/18~ 11/22	オンライン	無料	500人	274人
	憎しみとゆるし——広島とマニラの戦後から	11/25~ 11/29				262人
	平和思想と文化——ドイツの事例から	12/2~12/6				182人
	「核兵器禁止条約の時代」の平和・軍縮教育	12/9~12/13				173人
	平和首長会議と平和文化	12/16~ 12/20				189人

区分	講座名	開催時期	会場	受講料	定員	受講者
フォーラム 研究	Reconstructing the Radiological Impact of Nuclear Weapon Testing	3/7	本学情報科学部棟別館 409	無料	30人	8人
英語による市民講座	Radioactive Fallout and Dirty Bombs	1/20	本学サテライトキャンパス	無料	40人	22人
	ASEAN Policy Response to the Military Coup in Myanmar	1/27				15人
	Russia-Ukraine War and the non-Western Countries	2/3				11人
	Indigenous Nuclear Literature in North America: from Uranium Mining to Nuclear Waste	2/10				11人
シンポジウム 国際	戦争の記憶ーヒロシマ/ナガサキの空白	7/18	オンライン	無料	500人	300人



# 産学連携の推進

## 【産学連携発表会の開催】

広島市立大学の研究シーズを地域産業界や産学官連携推進関係機関等へ広く紹介するため、「産学連携発表会」を毎年開催し、研究シーズの紹介、デモンストレーション、技術相談等、参加者と大学研究者の交流を通じて、地域産業界との協働研究への発展を目指します。2022年度はメインテーマを「広島から未来をつくる」とし、対面とオンラインによるハイブリッド開催の予定でしたが、台風接近の影響によりオンラインのみでの開催とし、第二部のマッチングセッション・交流会は中止となりました。

## 【2022年度】

日時：2022年9月6日(火) 13:30~16:00

開催方法：Zoomによるオンライン開催

内容：1 広島市立大学産学官連携推進協会発足式

発足式挨拶 広島市立大学理事長・学長 若林 真一

設立趣旨 広島市立大学社会連携センター長 田村 慶一

## 2 広島市立大学産学連携発表会2022

### 第一部 講演会

(1) 主催者挨拶 広島市立大学理事長・学長 若林 真一

(2) 基調講演 株式会社モルテン 代表取締役社長 最高経営責任者 民秋 清史氏

「Think outside [the Box] モノづくりに未来はあるか？ モルテンの描く構想。」

(3) 研究者講演 情報科学研究科 教授 李 仕剛 「球面視覚と全天周視覚車椅子ロボット」

情報科学研究科 准教授 常盤 達司

「モノづくりと生体医工学

～凍結治療機器の開発・音刺激を用いたリハビリテーション手法の提案～」

▶2023年度産学連携発表会特設サイト

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/>

## 【各種展示会等への参加】

各種展示会や産学連携イベント等に積極的に参加し、行政・金融機関、民間団体、企業等との連携を強化するとともに、研究活動の紹介と新たなニーズの発掘を通じ、研究活動及び共同研究、受託研究のより一層の推進に努めています。

## 【主な出展行事】

行事名	内容	主催
イノベーション・ジャパン～ 大学見本市&ビジネス マッチング～	大学等の研究シーズを一堂に集め、企業へ紹介し産学連携の推進、技術移転の場を提供することで、産業活動の活性化を目指す、国内最大規模のマッチングイベント。2020年度からオンライン開催。	科学技術振興機構、 新エネルギー・産業技術総合開発機構
新技術説明会	大学の特許を技術移転させることを目的に、新技術や産学連携に関心の高い企業関係者に向けて、発明者自らが直接プレゼンを行い、広く共同研究等のパートナーを募る。	さんさんコンソ (中国地域産学官連携コンソーシアム)
ひろしま IT 総合展	1987年から隔年で過去17回にわたり大規模なIT展示会の開催を継続し、ITによる地域経済の活性化を推進する西日本最大級のIT総合イベント。	ひろしまIT総合展実行委員会 構成団体(広島県、広島市、広島商工会議所、ひろしま産業振興機構、中国情報通信懇談会、広島県情報産業協会)
広島県 信用金庫合同 ビジネスフェア	地元企業の発展と地域の活性化を目的に広島県全域の企業の売上拡大やコスト削減等によりビジネスチャンスを提供。	信用金庫合同ビジネス フェア実行委員会

# 産学連携教育

大学と一緒に  
教育・人材育成を！

地域社会との積極的な連携による教育プログラムを設計しました。  
団体・企業様に大学で講義を受け持っていただき、学生と一緒に地域課題の解決やシステム開発に取り組むことで地域社会や地域産業に根ざした人材育成を行います。

## 産学連携教育の目指すところ

- 地域社会で、特に IT 分野で意欲的に活躍し、本地域の IT 利活用推進に貢献できる人材を育成する
- 大学の専門基礎力に加え、企業や自治体との IT を必要とする現場において実践的専門教育を提供する
- 企業に大学の人材を知ってもらう
- 地域・産業界が求める人材像を学生が知り、自らの将来像を早く描く
- 教育を通して、企業との共同研究に展開する



## 授業や講座をリニューアルしました

▶産学連携教育詳細ページ

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/service/sangaku-edu/>

従来開講の産学連携教育の関連科目に加え、新たな4タイプの科目を設定しました。

		1年次	2年次	3年次	4年次
学部	専門		実践的 ICT 活用事例 課題解決型演習*	システム開発実践*	
	学共		課外インターンシップ随時		技術者倫理 情報と職業 知的財産権
研究科	博士前期		地域課題演習* 広島産業と技術*	インターンシップ・ベーシック キャリアデザイン i,ii	キャリアサポート ベーシック A,B
	博士後期		情報科学特別講義 プロジェクト演習 高度システム開発		
社会人向					研究科（博士前期）科目（科目等履修受講）

**A 知る！**  
地域課題、企業の課題やIT人材育成の必要性、またこれらの解決に向けた取り組みを講述する科目

**B 深める！**  
地域教育や企業から提示された課題に対して問題発見型、課題解決型学習を通して、課題の背景調査や課題解決のプロセスを体験する科目

**C 実践する！**  
地域課題や企業の課題解決の取り組みを企業等現場で体験するとともに、取り組みに関連するシステム開発などに参加する科目

**S 社会人(市民)向け  
リカレント教育用講座**

・色なし科目は従来から開講の産学連携教育関連科目 ・年次は想定対象学年で、上級年次学生も受講可能  
・科目名は変更する場合があります

# 外部資金の獲得等

## 【技術相談への対応】

企業等から寄せられる技術相談に対応し、研究シーズと企業ニーズのマッチングを通じ、受託研究、共同研究を推進しています。

▶技術相談のページ：<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/service/c00017956/>



## 【研究シーズ集】

本学教員の最新の研究成果に基づいた技術シーズを公表しています。

▶研究シーズ集のページ：<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/seeds/>



## 【外部資金の獲得状況】（「公立大学法人広島市立大学の概要」より抜粋）

### ①科学研究費補助金(交付決定額)

(年度)

区分	2018		2019		2020		2021		2022	
	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
科学研究費補助金	69	96,600	69	91,200	67	79,900	59	65,750	56	48,150
【参考】間接経費		27,882		29,340		26,160		23,970		14,445
計		124,482		120,540		106,060		89,720		62,595

### ②その他の外部資金獲得状況

(年度)

区分	2018		2019		2020		2021		2022	
	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円	件	千円
共同研究・受託研究	58	98,034	52	93,636	48	72,057	47	48,980	62	74,043
補助金	2	46,526	2	30,057	2	24,196	3	21,311	2	33,961
奨学寄附金	12	14,184	15	13,347	12	11,302	11	9,966	10	9,561
合計	72	158,744	69	137,040	62	107,555	61	80,257	74	117,565

## 【特許出願、知的財産管理】

(年度)

区分	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
特許出願件数	14	21	11	14	16	15	11	9	5	12	5
商標出願件数	3	4	1	0	0	0	0	0	2	0	3
審査請求件数	1	2	6	5	14	8	1	9	4	9	4
特許登録件数	6	7	1	2	7	12	7	6	3	8	6
商標登録件数	3	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0
特許権の譲渡件数	2	0	0	0	2	1	7	8	0	0	9

【本学所有の特許・商標一覧】(2023.8.1 現在)

No.	登録年月日	特許番号	出願番号	発明名称
1	2012.5.11	第 4985098 号	特願 2007-138382	運転訓練システム
2	2013.1.11	第 5548980 号	商願 2012-37104	Hiroshima City University
3	2013.8.2	第 5327735 号	特願 2007-271204	信号再生装置
4	2013.9.6	第 5354485 号	特願 2007-340381	発声支援方法
5	2013.10.25	第 5625331 号	商願 2013-040684	3つのひかり 未来をつくる
6	2013.11.1	第 5627157 号	商願 2013-044155	公立大学法人広島市立大学ロゴマーク
7		第 5627158 号	商願 2013-044156	公立大学法人広島市立大学ロゴマーク
8		第 5627159 号	商願 2013-044157	公立大学法人広島市立大学ロゴマーク
9	2014.11.28	第 5721925 号	商願 2014-013959	みみスイッチ
10	2015.11.27	第 5842266 号	特願 2011-281996	映像配信プラットフォームおよび映像配信方法
11	2016.5.13	第 5930179 号	特願 2012-047444	モバイルアドホックネットワークにおける自律的衝突回避システム及び自律的衝突回避方法
12	2016.7.15	第 5967758 号	特願 2012-150807	荷重測定装置
13	2016.10.7	第 6014931 号	特願 2012-195770	視線計測方法
14	2017.1.6	第 6066292 号	特願 2013-005338	多機能情報端末及びモバイルアドホックネットワークアーキテクチャーの通信方法
15	2017.3.3	第 6097903 号	特願 2011-157249	3次元形状の取得装置、処理方法およびプログラム
16	2017.4.25	第 9633439 号 (米国特許)	14/418663	画像処理システムおよび画像処理方法
17	2017.8.25	第 6195245 号	特願 2013-260280	モバイルアドホックネットワークアーキテクチャー及びモバイルアドホックネットワークアーキテクチャーの通信方法
18	2017.11.2	第 6232629 号	特願 2014-003592	汎用秘匿関数計算システム、データ処理装置、汎用秘匿関数計算方法、汎用秘匿関数計算プログラム、および、記録媒体
19	2018.1.12	第 6270136 号	特願 2014-046928	アクティブノイズ制御装置およびアクティブノイズ制御方法
20	2018.3.2	第 6297611 号	特願 2016-031648	転倒検知装置及び転倒判定方法
21	2018.4.20	第 6325234 号	特願 2013-231642	減速タイミング通知装置
22	2018.6.1	第 6346547 号	特願 2014-239136	方向指示装置及び方向指示方法
23	2018.8.3	第 6376680 号	特願 2014-029848	通信システム及び通信方法
24	2019.2.8	第 6473872 号	特願 2015-152945	映像構築装置、疑似視覚体験システム、および映像構築プログラム

No.	登録年月日	特許番号	出願番号	発明名称
25	2019.8.16	第 6570224 号	特願 2014-162391	自動車の外界認知性計測システム
26	2020.2.5	第 6655247 号	特願 2016-38570	情報処理装置
27	2020.10.23	第 6782940 号	特願 2016-167180	舌位・舌癖判定装置、舌位・舌癖判定方法及びプログラム
28	2020.10.23	第 6782946 号	特願 2017-160560	音質制御システム、音質制御方法及び動力機械
29	2020.11.4	第 6788303 号	特願 2019-535697	モーションベース
30	2020.11.16	第 6795190 号	特願 2017-038857	歩行感覚呈示装置及び呈示方法
31	2021.3.9	第 10942187 号 (米国特許)	16/145509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
32	2021.3.22	第 6856194 号	特願 2016-212332	医療用流れ測定装置およびその製造方法
33	2021.6.9	第 6400229 号	商願 2020-133548	心をつなぐ 知の拠点
34	2021.7.6	第 6412193 号	商願 2020-133549	凶形 (金色)
35	2021.7.15	第 6913938 号	特願 2017-109614	情報処理装置および情報処理方法
36	2021.8.26	第 6934679 号	特願 2019-046801	ブロックチェーン取引作成プロトコル、及びブロックチェーンアドレス作成方法
37	2021.10.29	CN109073590B	201780021302.9	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
38	2021.11.15	第 6978001 号	特願 2018-508026	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
39	2021.11.24	EP3438278	EP17775006.4	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
40	2021.12.6	第 6989127 号	特願 2018-076719	道路修繕順位決定システム
41	2021.12.24	第 6999141 号	特願 2020-116274	生体情報収集システム及びセンサユニット
42	2022.5.20	第 7076732 号	特願 2018-036434	アデノイド肥大判定装置、アデノイド肥大判定方法及びプログラム
43	2022.6.7	第 7084576 号	特願 2018-088459	流れ測定装置
44	2023.5.17	第 7281039 号	特願 2018-235108	ホディーエリアネットワーク通信方式
45	2022.12.8	第 7190685 号	特願 2019-544509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
46	2022.12.28	第 7202638 号	特願 2019-026986	先端分離型マイクロニードル
47	2023.1.23	第 7215678 号	特願 2019-030009	生体情報測定装置、生体情報測定方法及びプログラム
48	2023.1.31	第 7219437 号	特願 2018-139191	秘匿演算変換システム、秘匿演算変換方法、秘匿演算変換プログラム、および記録媒体
49	2023.5.17	第 7281039 号	特願 2018-235108	ホディーエリアネットワーク通信方式

(商標 8 件、特許 41 件)

# ホームページ・アクセス等

## イベント等開催情報

公開講座やイベント情報等を社会連携センターオリジナルHP、  
広島市立大学LINE公式アカウントでお知らせしています。

《社会連携センターオリジナルHP》

<http://www.renkei.hiroshima-cu.ac.jp/>

《広島市立大学LINE公式アカウント》

ID : @hiroshima-cu



## 研究シーズ紹介・地域貢献事業紹介ポスター

本学の研究シーズや地域貢献事業をポスター展示として紹介しています。

《研究シーズ紹介ポスター展示》

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/poster/>

《地域貢献事業ポスター展示》

<https://www.hiroshima-cu.ac.jp/research-presentation/area/>



## 社会連携センター組織体制

社会連携センター長 . . . . . 1名  
次長 . . . . . 1名  
職員 . . . . . 7名  
特任教員 . . . . . 3名  
知的財産マネージャー . . . . . 1名  
産学連携コーディネーター . . . . . 1名  
地域連携コーディネーター . . . . . 1名

## アクセス案内

【所在地】〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号 情報科学部棟別館1階







**公立大学法人広島市立大学 社会連携センター**

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

電話：082-830-1764 FAX：082-830-1555

Email：office-shakai@m.hiroshima-cu.ac.jp

ホームページ：http://www.renkei.hiroshima-cu.ac.jp/

---